

定年退職の時、教員最後の離任式の挨拶で、生徒に向かって、「定年後は今までできなかった世界の山旅をしようと思っています。いつまでも私の健康の続く限りチャレンジし続け、未知との遭遇を楽しもうと思っています。まずはアフリカ大陸最高峰のキリマンジェロ、そしてヨーロッパ最高峰モンブランを目指して頑張るつもり。だから、今日が教師生活最後の日です。」というような内容を話した。時折別れの挨拶を思い出す。

シャモニーを訪れるのは5回目。今年、定年退職後2年目、どうしてもモンブラン山頂に立ちたかった。高度順応対策で、エベレスト街道、キリマンジェロと計画的に修行を重ね、やっと女神の山モンブラン山頂に立つことができた。その日を迎えるために精神的にかなりストレスだったのだろうか、出国前に体重がかなり減って、自分でも驚いてしまった。

モンブラン グーテ小屋ルート概略

アプローチ シャモニー→車→レ・ズージュ(LeS Houches)→ロープウェイ→ベルビュー1794m→登山電車(トラム)→ニディグル2372m

・ニディグル Nid d'Aigle 2380m→テートルース小屋 TETE ROUSSE 3167m 歩程2時間～2時間30分

・テートルース小屋 TETE ROUSSE 3167m→グーテ小屋 AIG DU GOUTER 3863m 歩程2時間30分

・グーテ小屋 3863m→Dome du Gouter 4304m→Les Bosses 4486m →MONT-BLANC 4810m 登り4～5時間
下り2～3時間

※上記がグーテルート 通常ニディグル2372mから歩き始めるが、今回は雪が多く、登山電車(トラム)が運休していたためガイド Gigiさんとロープウェイ終点のベルビュー1794mから2Hのハイキングが追加となった。(6月20日(木)入山)

私の計画は私なりに緻密であった。まず、ハイシーズン7月8月を避けること。6月は残雪が多いので、最もポピュラーなグーテルートは雪が多いほど、取りつきの危険箇所クローワールの落石が少ない。登山者が少なければ、悪天候の時、再チャレンジの山小屋手配と、ガイド手配が可能だと思っていた。私の予測が的中してしまった。モンブランは天候に恵まれれば、普通に真面目にトレーニングしていれば、楽に登れる山。しかし、週の半分が悪天候。シャモニーや観光スポットエギューディミディ 3842mは視界があっても、モンブランの山頂4810m付近はすぐ、雲がかかってしまう。

6月20日(木)入山 9:30 シャモニーアパートにガイドの車でピックアップ。上記のアプローチでベルビュー1794m 10:05 発(トラム運休の為登山開始) →ニディグル Nid d'Aigle 2380m 12:05 着 ランチ 12:35 発 →テートルース小屋 14:35 着

6月21日(金) テートルース小屋 3167mからグーテ小屋 3863mを経て、モンブラン山頂 4810m 後、グーテ小屋泊。

しかし悪天候で、21日はテートルース小屋からグーテ小屋まで移動のみ。午後晴れるかもしれないということで、お昼12:00頃から山頂目指し出発したがドームデグーテ 4200m付近で、強風視界不良でガイドストップ。

ヨーロッパの夏は21:30頃まで明るいから、天気さえよければ、12:00発でも18:00までにはグーテ小屋に戻って来れる。がっかり。22日土曜日はもっと天候が悪い予報。明日22日土曜日は下山しかない。しかし、下山した翌日23日(日)は快晴の予報。そして23日を境に晴天がしばらく続く。落胆してビールも飲む気になれない。

優しいガイド Gigiさんが、「体力があれば誰でも登れるモンブラン、でも天候が悪いとどうにもならない。だから難しい山なんだよ」というようなことをたどたどしい英語で話して慰めてくれた。

6月21日(金)のグーテ小屋宿泊者は、私の見た目の憶測で定員80名の3分の1くらい。シーズン前の穂高の山小屋のように本当に、わずかの登山者で、こじんまりとまとまっていい感じ。

私は小屋がすいているから、土曜・日曜は満室でも、月曜日は空きがあるかもしれないと直感して、グーテ小屋の支配人アントワヌさんに、ベッドの空きがあればリザーブしたいと、申し出た。なんと奇跡!土曜日は空きなしだが23日(日)はベッド空き2人分あるという。その場でリザーブ。しかし、今日まで2泊3日のガイド Gigiは23日お客さんと、モンテローザに行くという。シャモニーの旅行会社に電話連絡を取ってもらい、23(日)・24(月)のガイドさんを探してもらおう。世界で最も予約が難しいというグーテ小屋に予約が取れるなんてなんて幸運なのと言われ、必ずガイドを探すと、勇気付けてもらった。21日金曜日の夕方、旅行会社担当から小屋に、23日のガイドが決まったという確認の電話連絡。ガイド代は超高いけど、自分へのご褒美、支払いの承諾。すべてはリザーブ済。チャンスを自らゲットした。

問題は私の体力。明日22日早朝3817mからシャモニーに下山3817m～2372m。これは富士山山頂より50m高い地点から富士宮口2400mに下り。翌日同じ高低差を登りかえすこと。富士山に2日連日登るということだ。私の登山人生で、最も過酷な体験になるかもしれない。しかも危険なクローワール2往復。

5月はアイゼン歩行訓練で富士山に3回毎週単独で登った。5月25日はアイゼン歩行訓練アンザイレンの練習で前穂高直登ルンゼ登山を同行させてもらった。まあ、連日最短ルートの富士山に登ることは不可能ではなかろうと自分に激励する。やはり富士山修行はバロメーターで、大切なんだとしみじみ思った。

22日(土) 早朝、ガイドの説明通り、悪天候登山中止。それでもロシアから来たというガイドなしのご夫婦は深夜3時

に小屋を出発、他のパーティの何人かも出発し、そして断念し引き返してきた。私はとにかく23日からの新たなチャンス=モンブラン登頂に向けて体力温存を思っていた。22日、私のガイドは朝7時の朝食を指示。

朝食の席に座ると、小屋の支配人アントワヌさんが席に来て、昨夜キャンセルがあったので、本日22日(土)私でもう1泊グーテ小屋に泊まって行けという話。ガイドGigiさんは良かったね。ここに泊まって、シャモニーから上がってくる新しいガイドを待ちなさいと言ってくれた。アントワヌさんは日本語の本は持ってきたか? 停滞で暇だろうからと尋ねるが、荷物は軽量対策、ガイドブックなど何も持ってきていない。突然の朗報グーテ小屋3連泊ということになった。朝食後ガイドGigiは良かったねと慰めのハグをして、ひとりで下山していった。

登頂予定日に家の娘に連絡が取れないのが気がかりであったが、冷静になって気が付くと、世界のグーテ小屋、有料Wi-Fiがあるということに気づき、5€払って、携帯ラインで娘に事情を伝え、山仲間の皆さんにも奇跡のグーテ小屋3連泊の連絡ができた。

23日(日) 快晴の朝、グーテ小屋停滞。深夜2時登山者の出発ラッシュ。ガイドのいない私は、登山者が一人もいな

いグーテ小屋にお留守番。外は氷河だからひとりで勝手に歩かないでとガイドに注意されたものの、こんな快晴の日に小屋から出ないなんて拷問! ちゃんとアイゼン付けて、外に出てみる。素晴らしい! 明日やっとなら行けると言い聞かせ、忍耐! 忍耐! 早い人は9時にはモンブラン山頂から小屋に戻ってくる。

やっとならランチビールを飲む気になった。おいしいキッシュ&サラダにハイネッケンビール! やっとなら元気が出てきた。そして13:30ころ、登頂のお世話になる新しいガイドさんGrishaさんがグーテ小屋に到着し、対面。どちらも優しいガイドさんでよかった。ガイドさんと午後のビールタイムを柿の種をつまんで楽しんだ。

24日(月) 快晴無風。深夜2時朝食。3時出発。真っ暗だが4:30が日の出時刻、すぐヘッドランプ不用になる。

高度順応の心配は全くなかった。ガイドGrishaさんが私の様子を見ながらどんどん歩いてくれる。4:32バロの避難小屋、他のパーティは外で休憩しているが、Grishaさんは避難小屋の中に案内してくれた。どこの国も避難小屋は同じ、緊急時の小屋だ。外にトイレ小屋もあった。その後、何パーティかを追い抜いていく。

避難小屋から先の狭い頂上直下のナイフリッジ5:40頃通過、アルプスの山々のモルゲンロート、すばらしい眺め。6:10モンブラン山頂着。山頂にはモニュメントは何もない。広い雪原の山頂。風もなく穏やかな山頂。しかしさすが4810m、ザックのペットボトルの水がシャーベットになっている。恐らく気温はマイナス8℃前後だろう。記念写真を撮って長居せずに下山開始。10分も休んではいなかった。山頂には次々と登山者が登ってくる。

標準タイムで登り4時間。しかし富士山修行をしていたので標高差1000m、4時間とはかからないだろうと思っていたが、案の定、3時間10分で登ることができた。下りはゆっくりで、途中写真をたくさん撮って、それでもグーテ小屋には8時10分には下山できた。グーテ小屋からモンブラン往復約5時間、ストロングな女性だと、Grishaさんにもアントワヌさんにも褒められたのが嬉しかった。

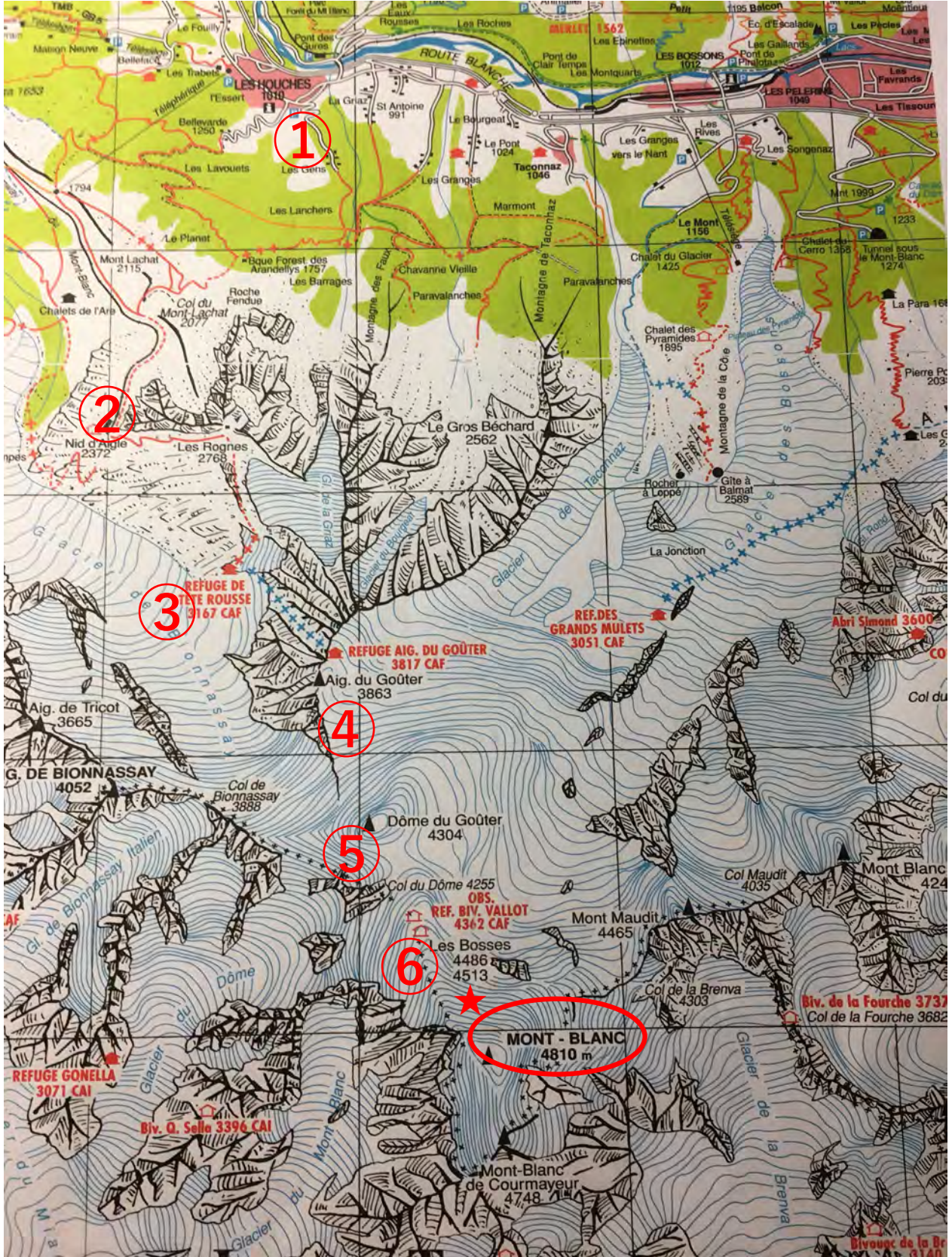
グーテ小屋でお茶して、テートルース小屋に下った。この下りは、岩稜の雪付きで、アイゼン装着。7月だとアイゼンいらなくなるのだろう。落石の多い危険個所のクローワールも午前中10時30分頃の通過で安全だった。

テートルース小屋、ランチビールで乾杯のんびりして、残雪の斜面を豪快に尻セードで、ニーデーグルに下った。22日(土)から登山電車(トラム)が動いていたので、13:35発の登山電車とロープウェイを乗り継ぎ、レジュージュに下った。ガイドのGrishaさんの車でシャモニーのアパートまで送ってもらった。

★ **山岳保険** フランス山岳会の**遭難救助保険**に加入 **海外の危険登山保険**(ピッケル・アイゼン使用&ロッククライミング(登攀))は日本ではほとんど扱いが無い。普通、海外登山する人は山岳会に所属していて、山岳会で海外保険適用の山岳保険に団体加入している。私は山岳会に所属していなかったため、シャモニーでフランス山岳会の会員になることが条件で、フランス国内の山岳救助だけ適応の保険に入った。フランス山岳会員のカードを発行してもらった。190ユーロと高いが、フランス山岳会直営の山小屋に割引が適応される。グーテ小屋はフランス山岳会の自慢の小屋で、チェックインの時に会員証を提示した。これで宿泊の割引(20パーセントくらいだと思う)が適用され、もしかしたら、フランス山岳会会員だったので、グーテ小屋のキャンセルで空席のあったベッドが予約できたのではないかなと思っている。

★ 今回のモンブラン登山は、1年前から、ネットで色々な登山専門旅行会社に問い合わせメールした末、一番信頼できる、山スキーヤーの間では有名な神田さんの創立母体のシャモニーの旅行会社に決め、ガイド手配はすべて依頼しました。少し高めですが、信頼度は抜群です。エミレーツ利用は初めて、宿はいつものブッキングドットコム、空港送迎はドアToドアが楽なので、バスより高めのシャモニーのトランスファーネット予約です。一応参考までにデータ添付します。

モンブラン登頂ルート



2019. 6.17~27 モンブラン登山計画と記録

※赤字が実際の行動

日付	曜日		行動予定	実際の行動記録 備考
16	日	自宅発	夕食後20:30自宅発(桜送迎)	上星川20:34発 横浜20:45着
		横浜	21:04発 京浜急行(蒲田乗換)	横浜20:50着
17	月	羽田	21:23着(チェックインは21:30より)	チェックインは21:30(16日日曜日)
		羽田	00:30発 EK313	出発は17日(月)夜中
		DOBAI	6:15着	DOBAI到着は17日(月)早朝
		DOBAI	8:30発 EK089(5:30よりチェックイン)	DOBAIトランジット
		GENEVA	13:15着 14:30発→14:00発に当日変更	camexpressトランファー14:00発変更
		CHAMNIX	16:00着	Le Carlton 15:30着
18	火	CHAMNIX	17:00 アルプ事務所打合せ(17:20)	フランス山岳会保険加入(16:00~)
19	水	氷河歩行訓練	ミディロープウェイ乗り場待ち合わせ	バレーブランシュ氷河上で高所訓練(7:00ロープウェイ~11:30終了)
20	木	入山	早朝 レジューシュからニーテグルへ	テートルース小屋泊(トラム運休)レスーシュ1785mからニーテグル2372m迄2H歩き+テートルース小屋3167m
21	金	アタック1	テートルースから頂上を目指す	グーテ小屋泊(12:00頃から山頂へ出発)ドームテグーテ4200m付近で撤退
22	土	アタック2	グーテ小屋から頂上を目指す(予備)	グーテ小屋停滞(ガイドGigiのみ1人で下山)
23	日	フリー(予備日)	グーテ小屋停滞 フリー(予備日)	グーテ小屋停滞 新しいガイド待&合流 快晴
24	月	フリー 予備日	モンブラン山頂 フリー(予備日)	モンブラン登頂&下山(3:00発モンブラン山頂6:10着 グーテ小屋8:10帰着9:10発テートルース小屋10:52着ランチ11:40発ニーテグルへ下山13:20)
25	火	フリー(予備日)	ALPIN WELLNESS温泉 19:30~フリー(予備日)	公園でピクニックランチ・19:30より温泉♨
26	水	CHAMNIX	17:00 ピックアップ ジュネーブ空港 18:30	8:54~12:08 ・バロシン(ガイドGrishaさんの故郷)へ列車でプラタモリ&ハイキング 午後13:30~ 公園でピクニックピアランチ
		GENEVA	21:40出国 EK084 (18:40よりチェックイン)	16:00まで部屋使用OK 17:00トランスファー GENEVA空港18:30着 出国 21:30
27	木	DOBAI	6:10着 (5:35よりチェックイン)	DOBAIトランジット
		DOBAI	8:35発 EK312 (5:35よりチェックイン)	8:00発に当日変更(離陸は8:30)
		羽田帰国	22:45着(羽田空港着) 23:42発 00:08横浜着	荷物ゲット23:30・帰宅は横浜よりタクシー 蒲田乗換(久里浜行特急)

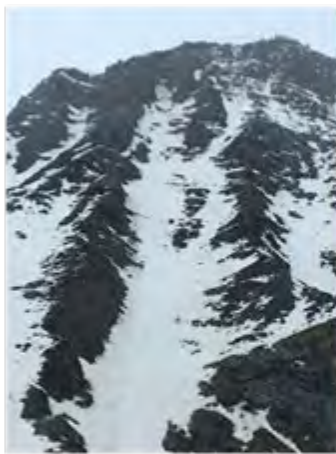
再
手
配

航空券	Emirates	EK313 00:30発 → EK089 8:30トハイ発(往路) EK084 21:40発 → EK312 8:35トハイ発(復路)	エミレーツ
宿泊 キッチン付 アパート	Le Carton	Residence LeCarlton, Chamonix City Center 744 00 TEL +33 6 08 26 60 43	キッチン付アパート9泊(2泊は山小屋) ★(4泊山小屋)
シャモニー 旅行会社	アルプ・プラン ニング・ジャポ ン事務所	TEL +33 4 50 53 46 19 E-mail apjapon@wanadoo.fr TEL +33 6 80 64 53 63	アルプ・プランニング(株)事務所 担当 岡村さん 会社緊急連絡先 神田美智子さん
シャモニーま でのトランス ファー	ジュネーブ空港 Le Carton	17日 空港 14:30ピックアップ ホテルまで 26日 シャモニーホテルピックアップ17:00	Chamexpress info@chamexpress.com 登録住所: ChamExpress.com、498、 Les Alpages、74310 Les Houches

モンブラン登頂 スナップ



左:モンブラン山頂
中:モンブラン山頂近くの雪壁
右:下山中ガイドGrichaさんと



危険箇所ケーボワール全景・右奥上にグーテ小屋

危険なケーボワール通過

←ベッド

グーテ小屋



エキュレディティから氷河歩行訓練

ガイドのGrichaさんとテートルース小屋



ランチ・キッシュ&クラグ

Le Carlton 滞在アパート3F(キッチン付き)

グーテ支配人アントワンヌさんとガイドGricha



朝食は焼立て
パンメイキング
2:00~3:00
7:00~8:00

登頂後アパートディナー
スーパーで買いたしてクック

アパートの1階はマクドナルド
駅から3分

フランス国鉄シャモニー駅

テートルース小屋もグーテ小屋も
フルコースディナー(スープが最高!)
パンは小屋で毎日焼いています。
デザートも毎日手作り
ポーク煮込み・チキン・チャーモンステーキ